



月刊 No.385

2021年9月20日号

KURE BUSINESS NETWORK NEWS

# 呉通信

発行：広島県中小企業家同友会 呉支部  
呉市中通 4-4-7 笹兵衛ビル 101  
TEL0823-23-9711 FAX0823-23-9141  
<https://www.hiroshima.doyu.jp>  
編集責任者：広報委員長 遠矢 典秀



2021年8月19日 呉支部例会より

## コロナ禍を言い訳にせず前を向こう！

### 《 TOPICS 》

令和3年度 呉支部方針 《スローガン》  
**変化に挑戦！**  
**「社長の元気」が輝く未来を創る**

**呉支部会員数 426名** (2021年8月25日現在)  
**取材先募集中！** ご希望の方は広報委員か事務局まで。

8月呉支部例会	2
地区会の報告	2~5
情報BOX	5
委員会の報告	6
この人この一枚「青木印刷(株) 青木氏」編	7
新会員紹介	7
どうゆう得タトピア	8

## 8月呉支部例会

# 環境変化に応じて変化していくのが

## 経営者の仕事

■開催日 8月19日(木)

■会場 Zoom

■参加者 75名

今回は(株)芝岡産業 代表取締役社長 田中宗弘氏にご報告頂きました。

芝岡産業は、国内の主要造船所と取引をされており、絶大なる信頼を受けておられる証だと思えました。船舶に装備する多くの金属製品を製造され、不具合があれば大きな事故に繋がりがかねない重要な品物ばかりです。

しかしながら、造船業界は景気に大きく左右され、売上も乱高下が激しい様です。それ故に、造船業界だけに頼るのではなく、陸上の仕事も随分と伸ばされています。また逆に、顧客から、難しい内容で受けて貰える業者が無く「やって頂けないでしようか」と依頼が来た話を聞き、長年培ってきた技術力と信用力の賜物であると感じました。

そして、船舶の使用燃料の話、環境問題が世間で言われている事、不正確さなど、新鮮な話も沢山聞かせて頂きました。

相川支部長の開会挨拶で「田中氏は大変な読書家です。ただ読むだけではなく、その内容をマスターしている」との話が有りました。先述の詳しい内容を全て記憶の中から話をされ、本当に多くの情報を把握されておられる事に驚きました。



報告者の(株)芝岡産業 田中 宗弘 氏(副支部長)

また、中国のリスクに関して、合併企業の解消は全会一致が条件との事で、以前から友好的に話をしに行き何とか上手く行ったとの生々しい話も有りました。危機管理をしつかりとされておられるなど

感じました。また中国人は嘘が多く信用ならないとの発言も有り、中国でのビジネスの難しさを改めて教えて頂きました。

世界で大きな影響力を持つている中国でも、現状のままで生き残る事は出来ない。日本は底力が有るので、これからは伸びて行くとの力強い話にも勇気を頂きました。時代の流れをしつかりと読み、危機に備えて早めに対応する事など、とても多くの学びが有りました。

田中さん、本当に有難うございました。

(記 企画委員長 菅原 勝利)

### 《呉南地区会》

## 刻々と変化する情勢

## に適應していく

■開催日 8月19日(木)

■会場 Zoom

■出席者 23名 十呉森沢ホテル

■出席者 23名

「環境変化に応じて変化していくのが経営者の仕事」コロナ禍を言い訳にせず前を向こう」をテーマに(株)芝岡産業 代表取締役 田中宗弘 氏に報告して頂きました。主に造船関係の受注をされてい

る芝岡産業は、中国や韓国の低価格競争により、日本国内の大手の造船所が規模縮小や撤退に追い込まれる中、造船関係だけではなく、各種の陸上用機器の製造に力を入れ、徐々に売り上げを伸ばしているという話をして頂きました。

また、中国内に会社を持つていた経験から、今後脅威となりうる中国リスクのうち、「中国のGDPは伸びているが、国の借金で公共事業をしているため、中国バブルも崩壊するのではないか？」と教えて頂きました。

そして最後には、中国リスク、国内造船所の厳しい経営環境、脱炭素ブームを踏まえた、燃料船などの新たな技術的分野や、それを整備する為のハードの投資についても教えて頂きました。

日々刻々と変化する社会情勢に、経営環境を変化させ適應していく考え方を聞き、学ぶことが多く、自社の参考にしていこうと思えました。

(記 インテリア誠 長谷川 誠)



《呉中央地区会》

# 疑う・学ぶ・考 えて行動する

■開催日 8月19日(木)  
■会場 Zoom十事務局  
■出席者 12名

田中社長の話には、圧倒された一時間半でした。

自社の状況や、業界、製品の事もさることながら、読書や、行動によって得られた教養、経験を基にされたお話は、とても含蓄に富んでいました。

私も製造業に携わる仕事をしておりますので、製造品も、製造方法も、とても興味深かったです。

また、中国の話や、環境の話、私たちが普段、見聞きしている事とは、全く違った視点で語られていた事も大変面白かったです。

マスコミに、聞かされている事を、無条件に信じるのではなく、ちよつと疑ってみて、自分で勉強して、信用できる情報を得る。そして、行動に移す。

そんなストイックな生き方は、素敵だと思いました。

今後の中国については、今度、ゆつくりお話させて頂きたいです。白

酒でも飲みながら(笑)。

田中社長のお話は、ワイドショーに出てくるようなコメントターよりも、100倍以上面白くて、説得力がありました。貴重なお話を、ありがとうございます。



呉中央地区会 サテライト会場の様子

最後に、このコロナ騒動の中で、学ぶ機会を作り、準備、運営をして頂いた委員、関係者の方々に感謝いたします。ありがとうございました。

(記 大栄産業(株) 山本 康雄)



《昭和地区会》

# 経験・分析 ・チャレンジ

■開催日 8月19日(木)  
■会場 Zoom  
■出席者 4名

昭和地区7月例会は、呉支部例会に各自Zoomで参加しました。

芝岡産業の田中社長に、会社の経歴・事業の内容・国内外での活躍・これからの展望についてお話いただきました。芝岡産業さんは、造船業の鉄工所として起業し、規模の拡大をしたようですが、中国や韓国との競争の激化や、リーマンショック、コロナ禍等の幾度かの景気低迷で、造船だけでなく、陸上の機械や装置などの新規事業に業務拡大されているようです。景気の波に翻弄されて、打つ手が無い企業が多い中で、しっかりと新たな事業の柱を建てる田中社長の行動力に感動しました。

また、新たな事業に対し、設備等への投資額に驚かされ、自分もやる時は、思い切りよくチャレンジしなければならぬと思いました。

そして、以前より中国に進出されていると聞いていましたが、中国という国と経済の現状、噂ではなく実際にご経験をされた、田中社長から

聞く中国の真実とリスクなど、ご活躍をされている印象と真逆の実情を聞いて、まるで経済ジャーナリストか大学教授のお話のようで大変印象的でした。



画面共有しながらのご報告でした

そんな中にも、事業の明るい未来の展望を見出す芝岡産業さんは、「経験」「分析」「チャレンジ」で未来を創り出していると、大変参考になる例会でした。

(記 ㈱マルフジ電機 藤野 秀水)



《広島地区会》

## 事前に起こり得る危機を想定

■開催日 8月19日（木）  
 ■会場 Zoom  
 ■出席者 3名

報告内容は、自社、取引先の紹介に始まり、前半は主に芝岡産業で製造している製品のご紹介をいただきました。



Zoom 参加者の様子

近年は陸上用機器の製造も増やし、船舶用機器の製造がメインで、

ているとの事でした。これはいわゆる、海の仕事を偏るリスクを分散させるための戦略で、試行錯誤を繰り返しながら、様々な製品を作っておられました。

後半部分は、会社の売上が好況・不況の波に反映されやすい造船業の課題や、造船の世界シェアの奪い合いなど、会社を取り巻く様々な情勢について、詳しくご説明いただきました。

製品を作る上で、避けては通れない中国との取引についても、赤裸々にお話しいただき、カントリリスクを回避する上での秘訣として、好況で関係の良い状態が、合弁を解消する上で、もつともトラブルの少ない方法と教えていただきました。

これは事業の大小にかかわらず、事前に起こりうる危機を想定し、事前に手を打つ、経営者として大切な考えであると感じました。察知する上で大切なことは、やはり情報収集であり、田中社長はその多くを書籍から得ておられました。

多くの懸念材料に対し、悪い時はもちろんですが、良い時でないとき先回りできない事もあり、その為のアンテナをしっかりと貼る重要性を再確認できた報告でした。

（記 東部飲料㈱ 白井 健人）

《広島地区会》

## 企業の維持・発展に必要なこと

■開催日 8月19日（木）  
 ■会場 Zoom  
 ■出席者 14名  
 十シテイプラザすぎや

広島地区会8月例会は、支部例会へ参加しました。報告者は、㈱芝岡産業 代表取締役社長の田中宗弘氏（副支部長・広島地区会会員）。



広島地区会 サテライト会場の様子

不況にあえぐ日本の造船事業と

いう厳しい経営環境の中、どのような経営方針で会社を動かしているかを、連携パートナーのいる中国の経済事情を織り交ぜながらお話ししていただきました。

弊社も同じく造船事業のメーカーという事もあり、他人事と思えない内容ばかりでした。しかしながら、弊社との違いは『企業のチャレンジ精神』と感じました。田中氏は、造船関係以外にも陸上用機器の製造を行っており、更にもその陸上用機器についても、現在進行形で新たな製品の製造へ意欲を高めておられました。しかし、高品質・低コスト化を実現すべく、中国との緊密な連携を結んでいる中で、田中氏は未来に目を向けて、今後の中国情勢を予見し、今後のリスクに備え、国内製作体制を再構築するというビジョンを描いておられました。私は、ここに田中氏のリスクマネジメントの高さを垣間見ました。

今回の田中氏のお話は、現状維持ではなく、様々な方向にアンテナを張り、リーマンショック然り、コロナウイルス感染症等の外的要因による、ボラティリティー（価格変動の度合い）の波を抑制する工夫や努力を続ける事こそ「企業の継続・発展に必要な不可欠である」という事の大切さを示して下さったと思います。

（記 ㈱川中工業所 川中 雄太）

《広北地区会》

## 新しい事への挑戦を欠かさない

■開催日 8月19日(木)  
 ■会場 Zoom  
 ■出席者 10名

8月度の呉支部例会は「環境変化にに応じて変化していくのが経営者の仕事」というテーマと、副題で「コロナ禍を言い訳にせず前を向こう！」という内容で、(株)芝岡産業の田中社長のご報告でした。

田中社長の会社は、世界の情勢で大きく左右される業界という印象でした。その中で、メインの造船に関する仕事だけでなく、陸上の製品も手がけていく事も積み重ねられて、社会の情勢と新しい事への挑戦を欠かさない行動が大事だと思いました。

私個人として面白かったのは後半の話で、中国の動きが世界に及ぼす影響など、世界的な環境問題、人権問題等は必ず裏に大きな利権が働くと言われていますが、詳しく説明をして頂き、とても楽しく勉強になりました。

コロナ禍で大変な時期ですが、目の前の事だけでなく、世の中全体の

動きを意識して経営していく事が大切だと感じました。  
 (記 (株)オオサワ創研 大澤仁志)

《芸南地区会》

## 情報力・引き出しの多さに感服

■開催日 8月19日(木)  
 ■会場 Zoom  
 ■出席者 8名

コロナ禍の中、昨年度と同様リモートによる支部例会が開催されました。冒頭に、司会の方が地区会毎に参加者を紹介するという初の試みがなされました。リモート参加では参加者同士の繋がりが欠ける傾向にあります。その打開策としては良い案だと思います。ただし、参加者が多いので、確認する作業に画面をスクロールする必要があり、もう少し工夫が必要かと感じました。

田中宗弘氏(株)芝岡産業 代表取締役社長)のご報告内容は、テーマどおりに環境変化に応じた対応が計画的になされていると思います。従来、製品の約90%が造船関連であったのが、リーマンショックによる造船需要の落ち込みを、陸上関

連の製品を採り入れることで対応し、昨年からコロナ不況に対しては2021年初頭より建造商談の活発化に対応すべく船舶の大型化、脱炭素燃料船などへの対応を取ることで環境変化に順応するという、その決断力・実行力は素晴らしいと感じました。

また、田中社長の外部環境分析は大変奥が深く、特に中国に関する情報には感服いたしました。中国パートナーとの密接な連携を築いている中で、その中国の政治・経済・社会事情を細かく分析し、その潜在リスクを把握した上で、今後どう付き合っていくかを検討していることは、流石だと思います。

さらに、「脱炭素」ブームに関する内容も、一考に値する深い考察であると感心しました。

田中社長の情報力、引き出しの多さは日々の努力の賜物だと思えますが、田中社長を少しでも見習って私もよい経営者になるための努力を続けていきたいと思えます。

(記 社会保険労務士法人オーク 佐藤 健次)



## 呉高等技術専門校から ご案内

●職業訓練知っ得ツアー

日時 10月20日(水)13:30から校内見学会を実施

1年課程 溶接加工科、機械システム科

6カ月課程 介護サービス科、CADワーク科

●令和4年度生募集(第1期選考)

1年課程 溶接加工科、機械システム科

6カ月課程 介護サービス科、CADワーク科

対象 令和3年度に新たに学校を卒業される方

締切 10月29日(金)必着

選考日 11月16日(火)

応募書類先 当校

いずれも、詳しくは、当校HPまたは、お電話ください。呉市阿賀中央5-11-17 TEL0823-71-8816

# 政策&地域内連携推進&環境経営 合同勉強会 SNSをビジネスツールとして

## 活用しませんか？

- 開催日 8月5日(木)
- 会場 Zoom
- 参加者 21名

歴史を振り返ると、情報発信のスタイルが、人口やツールの変化とともに変わってきています。

日本の人口は、2004年の1億2784万人をピークとして、2100年にはその半減から7割減になると見込まれています。更にその内4割が高齢者とも言われています。

そうした中、SNSの可能性は、ますます高まっていると言われております。主流となつてい

「Twitter」「Facebook」「Instagram」「Line」の特徴について見て行くと左記のようになります。

**Twitter** 利用者：4500万人 特

徴：実名が不要のため、情報の信頼

性には注意が必要、拡散力が高い

**Facebook** 利用者：2600万人

特徴：友人、仕事関係での繋がりが

中心のため、信頼性が高い

**Instagram** 利用者：3300万人

特徴：若年層、特に女性を中心に人

気がある。写真・動画が主。おしゃ

れ投稿が多い。

**Line** 利用者：8300万人 特

徴：幅広い年齢層が利用。お客様と

のコミュニケーション手段として、

メールに代わる存在になりつつあ

る。販促機能も充実しており、店舗

集客に適している。

これらの特徴を踏まえ、自分に合

ったSNSを選択し、情報発信、あ

るいは顧客との繋がりを作って

いくことが集客に繋がっていく。



Office Unite☆ Unit 浦山寧子氏

SNSの効果が見込まれないのであれば、投稿を見直すといった作業を繰り返すことも必要である。

コロナ禍において、顧客との信頼関係構築こそが、回復の糸口になる

方法の一つであると考えられ、実際にそうなっているケースもSNS上で見られる。

まずは、やってみる！反応が悪ければ、やり方を変えてみる！で活用してみましよう。

なお、講師の Office Unite☆

Unit 浦山寧子氏は、中小企業庁の

専門家派遣事業「中小企業119」に専

門家として登録中です。

(記) ㈱ライフハック 光田 将章)

### 《経営基礎講座(労務編)》

## 就業規則も運

## 用が大事！

- 開催日 8月20日(金)
- 会場 Zoom
- 出席者 10名

経営基礎講座「労務編」は、昨年に引き続き渡辺人事経営研究所の渡辺峰男氏にご講演頂きました。

どの講座も大変学びになりますが、「労務編」は自社の現状と照らし合わせ、今後施行される法改正等も含め、しっかり勉強しておこうといつも身が引き締まります。

近年ではスマートフォン、SNSの普及で、労働者側も様々な情報を簡単に得られる時代です。

新型コロナウイルスの影響もあり、全国でも失業者が増え、労働相談や労務トラブルも増加傾向にあります。



Zoomで配信中の様子

会社と経営者を守るためのツールとして、就業規則があります。経営指針と同様で、作ることが目的でなく、運用していくことが大切です。使用者側と労働者側が戦うのではなく、労務トラブルのリスクを減らし、社員さんにモチベーションをアップしてもらいために、従業員10人未満の作成義務がない会社であっても作成することは良いことだと思います。

社員さんと、会社がWIN-WINでいられる理想を追求して、経営者は日々学ばなければいけません。そのために、ぜひ経営労働委員会をご利用ください。

(記) 松栄産業㈱ 土井 康弘

この人この一枚

# 「私の歴史の一枚ページ」

青木印刷(株) 代表取締役 青木一夫氏(芸南)

この写真(上)は、2007年12月にアメリカ・ハワイのホノルマランソンに参加した時のメダルと完走証です。



完走証とメダル

同友会の仲間とアスリートクラブを作り、市民マラソンに参加していましたが、ふとしたことからホノルマランソンに出ることとなり、2年間をかけた本格的に練習と準備をしてから参加しました。  
大会の4日前くらいに、新幹線で広島から名古屋へ移動し、名古屋空港からハワイへと向かいました。

現地に降り立ち、最初に感じたことは「暑さが違う」「日本人ばかり降りてくる」。想像していたイメージと全然違いましたが、とうとうハワイに来たという実感が湧きました。

そうしていくうちに、本番が近くにつれ、本当に走れるか不安がどんどん大きくなりましたが、一緒に参加したメンバーの励ましもあり、スタートラインに立つことができました。

いよいよ、スタート。何万人ものランナーが参加し、途中にはスコールが降るなど大変なレースとなりました。私は、10kmまでは走る事ができましたが、残りは走ったり歩いたりを繰り返して、沿道で応援してくれるアメリカ人からの差し入れをいただいたりしながらも、ゴールがあるダイヤモンドヘッドに向かって足を進めました。

私は、メンバー内でいつも最後。今回も「青木が来ん」と皆さんが心配してくださいました。結果は、7時間54分52秒で完走することができました。  
この下の写真は終わった後の打ち上げの写真です。みなさん完走し

た証拠のTシャツを着て、日本食のレストランで最高でした。  
とにかく完走、達成することに意義がある。仕事においても、経営者として達成していないこともたくさんあります。今は会員の皆さんにアドバイスいただき、少しずつ達成していています。



完走後の一枚(写真一番左が青木氏)

マラソンは、もう年齢的に無理だと思いますが、これからも、やり遂げる、達成することは忘れず、経営をして行きたいと思えます。

青木印刷(株)  
呉市安浦町内海北2-16-6  
TEL 0823-184-2104  
FAX 0823-184-2333

## はじめまして！新会員紹介



会社名・役職・会員名	写真	地区	事業内容	所在地	会社TEL	推薦者
創輝工業(株) 代表取締役 増本 晃一		呉中央	建設業	呉市焼山松ヶ丘 2-7-3	090-7995-4489	櫻井恵梨香

TOKU TOKU  
**どうゆう得々トピア**  
 呉支部の会員情報を発信!



※掲載は無料です。ご希望の方は地区会の広報委員または事務局へ原稿をお渡しください。

ステンレス及び鉄鋼製缶品の酸洗は  
 ニツカンにお任せ下さい!



有限会社ニツカン 受付 9:00~17:00(月~金・祝日休)

☎ 0823-84-2300 FAX 0823-84-2305

mail nkn@alpha.ocn.ne.jp

〒737-2512 広島県呉市安浦町安登西7丁目12-12



渡部 和晃

kozaki watanabe



OPEN-CLOSE

平日 10:00~20:00  
 土日祝 9:00~18:30

SHOP HOLIDAYS

毎週月曜・第3日曜日

ADDRESS

〒737-0125  
 広島県呉市広本町1-7-11  
 TEL 0823-72-2679  
 TEL 080-5693-3816  
 mail@ch-watanabe.jp



ハレの日ニハム



Food Design Planning

大本 紀子

家庭料理・料理研究家  
 ナチュラルフードコーディネイター

090-8993-3134

info@fooddp.jp

https://fooddp.jp

BAR  
 CLOVER

内芝 光茂

uchishiba mitsushige

〒737-0125 広島県呉市広本町1-1-11

TEL/FAX (0823)74-0051

営業時間 19:00~2:00

定休日 月曜日

編集後記

お盆に降り続いた大雨は、西日本各地に甚大な被害を及ぼし、広島県でも安芸高田市など県北の各所で洪水を引き起こしました。一方、北海道では10年に一度の大干ばつが起こっており、農業生産に大きな影響が出るそうです。

どこかで大雨が降ると、どこかが乾燥する。地球にある水分の絶対量は変わらないのでしようから、異変が起きると、どこかでバランスされるということなのでしょう。近年はバランスの天秤があっちに行ったり、こっちに行ったり、無理やり均衡を保とうと、地球も悪戦苦闘しているようです。

この神の天秤に人間は翻弄されておるわけですが、人為的に行われているのがチベット(中国)とインドの水関係です。世界の屋根であるチベットには年間通して豊富に水があるため、中国は大規模なダムを毎年のように建設して水力発電に充てています。ところがチベットを起点とする水源はバングラを通り、インドの各主要河川の水源ともなっています。中国がその気になれば、インド全土を干上がらせることも可能なわけです。水の蛇口を握られたインドは何度となく中国に抗議していますが、当然聞く耳は持ってもらえず、インドは戦略的に厳しい立場に立たされているそうです。

水は戦略資源、という話は聞いたことがありますが、まさしくインドにとつて戦略兵器級の抑止力をもった施策となっています。こう見ると中国が辺境チベットに固執する理由が見えてきます。

さて水と同じく、食料も国家の存亡を左右する資源です。日本の食料自給率はこのままで良いのでしょうか。仕事柄、今また再考する時期に来ているのではないかと考えるこの頃です。

(記 富田肥料株 富田 文平/広島)